

## ◇2017 年度実施の訪日教育旅行の実態とまとめ（中・高）〈抜粋〉◇

この調査は、2017（平成 29）年度に実施された中学校・高等学校の訪日教育旅行の受け入れに関するものである。

なお、調査は全国の国立・公立・私立等の中学校・高等学校を対象とし、下表の調査校を抽出し回答を依頼した。

設置者名	国立	公立	私立等	合計
全国校数	86	13,050	2,098	15,234
抽出校数	86	3,963	2,008	6,047
回答校数	28	1,476	544	2,050
回答率%	32.6%	37.4%	27.6%	34.1%

※回答率は、抽出校数に対する回答校数の割合

調査項目は次の通りである。

- (1) 来訪国・地域 (2) 来訪月 (3) 日本滞在日数
- (4) ～ (6) 来訪生徒数・来訪引率教員数・合計人数 (7) 来訪校の宿泊市町村
- (8) 来訪校の見学・交流市町村 (9) 受け入れ対応内容 (10) 交流費用
- (11) 費用の支出元 (12) 学校が支出の場合の支出元 (13) 学校間交流の具体的内容
- (14) 学校間交流における通訳の手配 (15) 受け入れ要請がどこからあったか
- (16) 訪日教育旅行受け入れ実施に当たっての課題や問題点

当調査の対象とした「訪日教育旅行」の定義は、以下の通りである。

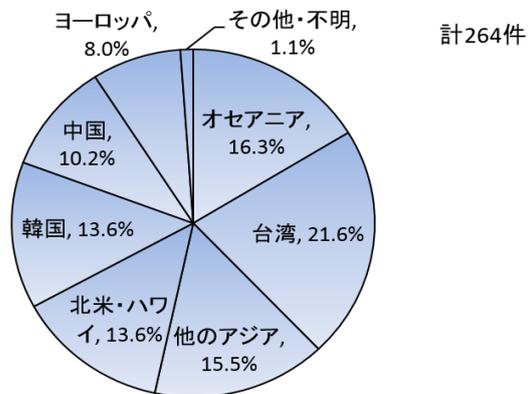
- ・主として、学校単位で引率者が引率し、訪日する団体の旅行（個人は除く）
- ・原則として、日本の学校との学校間交流を実施

そのため、引率者がいない3名以下の回答については対象外とした。

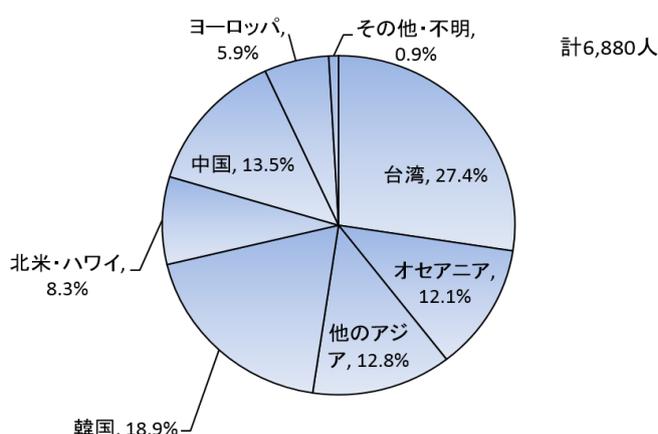
ここではその一部を抜粋して紹介する。なお詳細については「教育旅行年報データブック 2018」をご覧ください。

## 1. 国・地域別 訪日教育旅行数

国・地域別 訪日教育旅行件数（構成比）



国・地域別 訪日教育旅行人数（構成比）



※実施されたと報告された総件数を分母とした構成比

※実施されたと報告された総人数を分母とした構成比

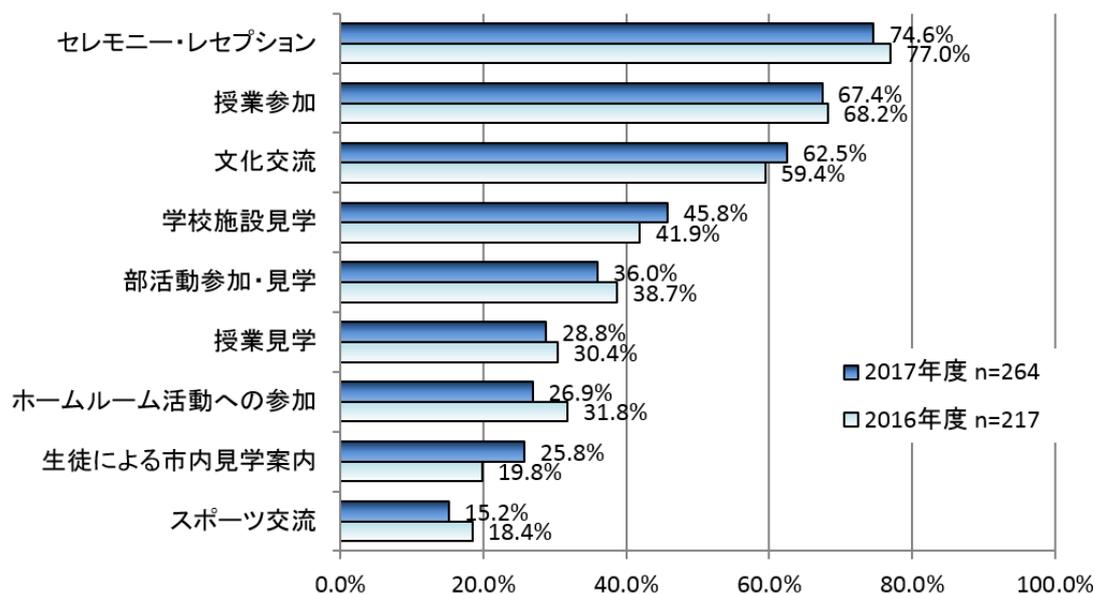
有効回答件数計 264 件は前年度（217 件）より大幅に増加、人数計 6,911 人も前年度 5,434 人より大幅に増加した。例えば件数ベースでは、オセアニアが前年度調査の 59 件から 43 件に減少した以外は、各地域それぞれ増えている。特に中国（含む香港・マカオ）が前年 13 件から当年 27 件に、他のアジアが 20 件から 41 件に、ヨーロッパが 11 件から 21 件と、それぞれほぼ倍増している。また、集計には出ていないが、複数件数受け入れた学校も、昨年調査の 42 校から本年は 57 校と、大幅に増えている。

## 国・地域別 月別訪日教育旅行数

国・地域	来訪月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中国	件数		2	1	5		2	1	5	5	4	2		27
	人数		145	43	192		39	29	131	171	149	38		937
韓国	件数		1	2	9	1	3	3	1	2	10	3	1	36
	人数		33	61	367	24	66	155	16	54	311	41	180	1,308
台湾	件数	11	12	3	3	10	2	2	6		4	4		57
	人数	349	449	66	74	299	121	44	206		138	149		1,895
他のアジア	件数	5	4	7	2	2		5	8	1	2	2	3	41
	人数	72	132	136	22	23		120	216	33	18	49	66	887
オセアニア	件数	6		2	1		22	4		4	2		2	43
	人数	118		26	18		397	113		54	46		64	836
北米・ハワイ	件数	3	4	9	8		1		3	1	2	2	3	36
	人数	63	68	129	102		11		29	8	21	46	100	577
ヨーロッパ	件数		1	1	2		2	7	5		1	1	1	21
	人数		22	9	47		35	129	85		13	38	32	410
その他不明	件数		1		1		1							3
	人数		31		15		16							62
件数計		25	25	25	31	13	33	22	28	13	25	14	10	264
人数計		602	880	470	837	346	685	590	683	320	696	361	442	6,912
件数構成比		9.5%	9.5%	9.5%	11.7%	4.9%	12.5%	8.3%	10.6%	4.9%	9.5%	5.3%	3.8%	100.0%
人数構成比		8.7%	12.7%	6.8%	12.1%	5.0%	9.9%	8.5%	9.9%	4.6%	10.1%	5.2%	6.4%	100.0%
前年度人数構成比		8.1%	12.3%	6.8%	11.8%	4.3%	9.9%	10.5%	6.3%	6.5%	8.0%	14.1%	1.3%	100.0%

当該学年全員の参加が原則の日本の修学旅行と異なり、日本に関心を持つ希望者を募集したり、日本語学習者（クラス）単位で来訪したりという形態が多い。その点も理由として、各国・地域の学校の中・長期休みの時期や、国の定めた連続休日がある時期に行うことが多い。訪問国・地域毎に学年・学期のスケジュール等も異なるため、それが訪問月の違いに反映している。台湾からは4・5月、10・11月の来訪が多い。オセアニア（オーストラリア・ニュージーランド）では43件中22件が9月に集中している。

## 2. 学校訪問時の交流内容（複数回答）



※訪問件数を分母とした比率を表記

交流内容（複数回答）では、例年と傾向は同様で、「セレモニー・レセプション」、「授業参加」と「文化交流」の三つは、訪問件数中6割以上のケースで実施されており、学校交流の中心的な内容であると言える。